

平成 27 年 4 月 1 日

電気学会全国大会 男女共同参画推進委員会主催シンポジウム
「5 年度の私, 10 年後の私～若手エンジニアたちが語り合う, 学生時代, 今, そして未来～」
開催報告

電気学会 事業サービス課

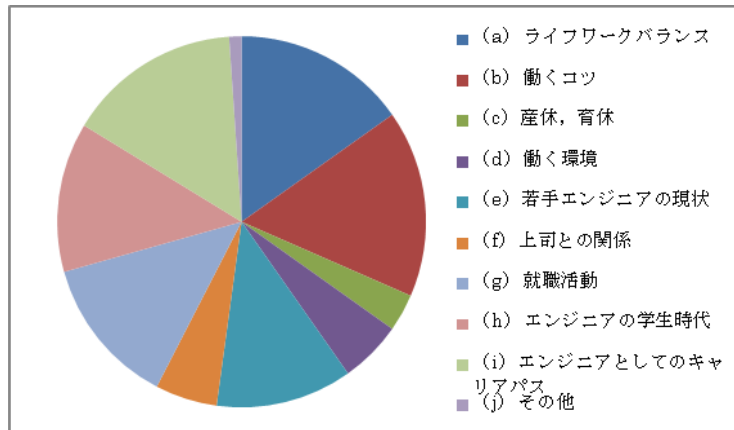
標記シンポジウムを平成 27 年 3 月 26 日 (木) に東京都市大学 (東京都世田谷区) において開催した。以下に開催報告を記す。

日 時	平成 27 年 3 月 26 日 (木) 10 : 00～12 : 00
会 場	東京都市大学 世田谷キャンパス 2 号館 1 階 21B 教室
参 加 数	46 名 (男性 : 30 名, 女性 : 16 名)
対 象 者	学会員および一般の方々 (電力業界, 産業界, 一般社会人, 学生)
広報活動	・全学会員宛にメールマガジンを配信 ・チラシを作成の上, 関係各所に配布
パネリスト	佐藤 竜也 氏 (楽天株式会社 コーポレート情報技術部) 細野 喬文 氏 (日立製作所 日立研究所 エネルギー環境研究センター) 渡戸 裕子 氏 (東芝 研究開発センター 機能材料ラボラトリー) 高柳 よしと氏 (株式会社ウィル・グロー 代表取締役)
座 長	石川 潤 氏 (東京電機大学 未来科学部 ロボット・メカトロニクス学科 教授) 白銀 隆之 氏 (関西電力株式会社 電力流通事業本部工務部長 電気学会副会長)
次 第	1. 委員長挨拶 2. パネリスト自己紹介 3. 魅力あるエンジニアライフを送るためのキャリアパスを考える 4. 若手エンジニア (+これからエンジニアになる人) が, 今やっておくべきこと 5. エンジニアとしての理想的なライフワークバランスとは?そして, その実現のためには 6. まとめ

アンケート結果

Q 1. どのようなことに興味、関心を持って本シンポジウムを聴講しましたか？（複数回答可）

回答No	人数
(a) ライフワークバランス	14
(b) 働くコツ	15
(c) 産休、育休	3
(d) 働く環境	5
(e) 若手エンジニアの現状	11
(f) 上司との関係	5
(g) 就職活動	12
(h) エンジニアの学生時代	12
(i) エンジニアとしてのキャリアパス	14
(j) その他	1
合計	92



→ライフワークバランス、働くコツに興味のある方が多い

Q 2. 本シンポジウムについてのご意見を自由におかきください

- ・若手を登壇させてとても良い会です。内容は非常に濃いと思います。学生にとっては、ちょっと先を歩いている先輩の話を聞ける機会になると思います。東京都市大学でも問題となっていますが、女性特有の問題からずれていってしまいます。男性が大多数になると男性に理解してもらうことは必須ですが、どうやって女性の問題を話し合うかが難しいです。女性自身にも避ける傾向があります。
- ・社会人の話を聞くことができたので、今後自分がどのようにして勉強していくべきなのかを考えるきっかけになってとても良かった。また、働き方についてたくさん知ることができたのが就職活動などの参考になるので良かった。コミュニケーションの大切さも学んだ
- ・学生時代にやっておくべきことについて聞いてよかった
- ・現在、就職活動の時期で、いろいろと悩みがありましたが、為になる話が聞いてよかった。これからどうすべきか考えさせられた。
- ・実際に今、働いている人から生の声が聞いて参考になった
- ・設計職の方の話も聞いてみたかった
- ・大変おもしろかった。入社して数年後のことはイメージしにくいですが実は重要。とても良い視点だと思いました。
- ・採用を担当していますが、入社後のキャリアパスを学生と話し合うことがとても大切だと感じました
- ・多様なパネリストの意見が聞いて、なかなか楽しい時間であった。司会進行が上手で、とてもよいシンポジウムと感じた
- ・とても参考になりました。出席して良かったです
- ・異なる意見を聞いたことは就職活動に役立つと思った
- ・企業が多種多様に存在するように、働き方も多様であると感じた。1人1人が明確な意思を持って研究しているなどと思った
- ・これから仕事をするために必要となることを知ることができた

- ・今の若手エンジニアが何を考え、どう行動しているかの一部が見えたように感じます。この種のシンポジウムは継続しての開催に意義があるものと考えます。ぜひ来年も開催をお願いします
- ・学生向けシンポジウムとして価値があると思いました。パネリストが優秀な方々であり、もう少し広い意見を引き出すために、上司レベルの参加があると、もっと意見交換ができると思いました。
- ・パネリストのライフワークやライフパスをそれぞれ聞いて就職活動において参考になった
- ・就活、院生活、将来への不安が多かったが、今日のシンポジウムで前向きに考えられるようになった。自分は現在学生だが、あと2年の間に自分の得意な分野を伸ばしたいと思った。パネリストの皆さん、今日は参考になるお話をありがとうございました。
- ・今後、会社に入社してからのエンジニアとしての行き方を学ぶことができた
- ・人事目線で一緒に働きたいと思われる人間の特徴とは？
- ・将来直面しうる選択、エンジニアが自身の進路について考えていること、これらを知った上で自身の学生生活について振り返ることができた
- ・将来の自分像を想像するのが難しかったが、今日のシンポジウムを聞いて、少しイメージできるようになった
- ・エキスパートとマネジメントのどちらを目指すかの参考になった
- ・とても参考になる話をきくことができた。自分の姿勢を考えるいい機械になりました。
- ・企業の選び方が、自分のやりたいことだけというわけではなく、ライフワークバランスを見たりするのも一つの手であるということを学んだ。また、社会に必要とされる人間がどういう人なのか、学生時代にやっておく良いことなど、社会人から聞いたのは良かった。
- ・社会人の意見を直接聞くことができてよかった
- ・今後、社会に出るときに何を軸にして生きていくかを考える必要があると感じた
- ・キャリアパスについて具体的なことは分からなかったが、今やるべきこと、また、自分の足りないところが良い分かり、良い体験だった。
- ・異業種の若手の方4名が本音で語り合うのを聞くのはとても新鮮でした。4名の方がみな、輝いてみえました
- ・学生主体で質問があると良かった

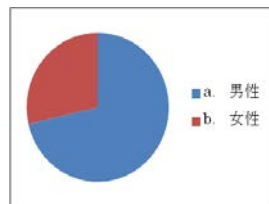
Q3. 今後シンポジウムで取り上げて欲しい課題やもっと知りたいことなどを自由にお書きください

- ・女性の就職、就職活動
- ・仕事で成功するまでの過程をもう少し詳しく知りたい
- ・女性の働き方（ライフワークバランス）について取り上げて欲しい
- ・毎年新しいテーマも面白いが、人もどんどん入れ替わるので、同じ悩みを繰り返す。良いテーマは継続的に扱っても良いのでは。
- ・今後のワークライフバランスのあり方
- ・研究のプロセスについて（考え方など）
- ・男女が同じように仕事ができる環境になっているのか。これからのことなど
- ・学生向けでなく、電気分野に限らない技術者全般に関係するシンポジウムを企画していただきたい
- ・会社での生活について
- ・相手に伝えるコツ（自分の研究を）
- ・エンジニアに求められている能力は何か？

- ・ 人事側から見た、エンジニアとして欲しい人材とは
- ・ またこういった会があれば、ぜひ参加したい
- ・ 学生時代成績があまりよくなかった人がどうやって社会を乗り越えているのかを知りたい
- ・ 考える能力を身につける方法を教えてもらいたい。
- ・ コミュニケーション能力をどうやって身に着けるか知りたい。
- ・ 効率的な勉強方法・勉強プラン
- ・ このような企画を更に展開していただければと思います
- ・ 企業だけでなく、自営業について

Q 4. 性別

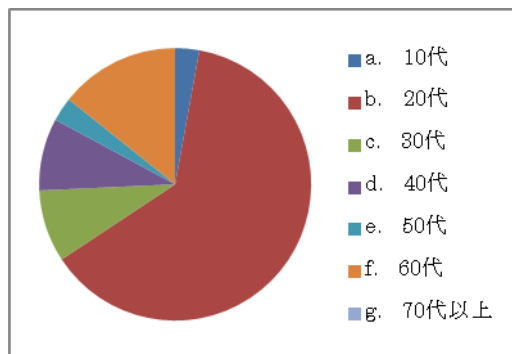
回答No	人数
男性	25
女性	10
合計	35



→男性が約70%を占めている。

Q 5. 年代

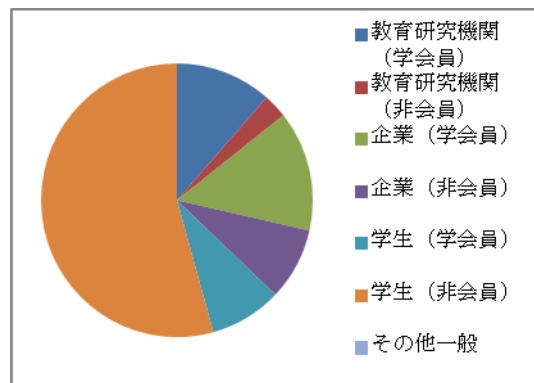
回答No	人数
a. 10代	1
b. 20代	22
c. 30代	3
d. 40代	3
e. 50代	1
f. 60代	5
g. 70代以上	0
合計	35



→20代の学生が約63%で最も多かった。

Q 6. 業種

回答No	人数
教育研究機関(学会員)	4
教育研究機関(非会員)	1
企業(学会員)	5
企業(非会員)	3
学生(学会員)	3
学生(非会員)	19
その他一般	0
合計	35



→会員外の学生が約55%と最も多い。



花崎委員長からの挨拶



パネリストによる討論



座長による司会進行



会場も交えての討論